

新幹線・駅周辺整備特別委員会 報告

1. 委員構成

委員長：辰川 志郎

副委員長：中川 敬雄

委員：南出 貞子、田中 金利、林 直史、岩村 正秀、川下 勉

2. 調査目的

新幹線駅及び周辺の都市機能の充実に関する調査研究

3. 調査期間

令和2年9月25日～令和3年9月14日

4. 委員会等開催状況

	委員会	行政視察
令和2年	2回	0回
令和3年	3回	0回
合計	5回	0回

5. 協議・報告事項件数

9件（令和2年：2件、令和3年：7件）

6. 現地調査（令和2年11月27日）

北陸新幹線加賀トンネル工事中に生じたトンネル内のひび割れの現状を確認した。

また、ひび割れは地盤の膨張が原因であり、固定ボルトを埋め込み、地盤を変形させる追加工事が必要であると説明を受けた。



原因や対策工事の説明



ひび割れの現状確認

7. 調査の結果及び今後

北陸新幹線加賀温泉駅の開業を見据え、委員会では北陸新幹線加賀温泉駅駅舎及び駅周辺の魅力創出、利便性向上に向けて調査・研究を行ってきた。

北陸新幹線工事において、令和2年9月に敦賀駅の整備の遅延と福井県との県境の加賀トンネル内でひび割れが確認され、開業が2024年まで延期された。今後も北陸新幹線工事の進捗状況やトンネル内のひび割れへの対処に関して注視していく必要があり、当局から逐一、工事経過等の報告を受けることとする。

そのほかにも、北陸新幹線加賀温泉駅の周辺施設について、加賀市における地域の特色を生かし、加賀温泉の玄関口として景観の維持、向上を図るよう意見や提案を行ってきた。

加賀市のシンボルとなる加賀温泉駅が市民の誇りとなるよう、加賀市らしい独自の魅力的な空間の創出に向け、議会としても引き続き調査・研究を行い、積極的に提言・提案を行っていくことが必要であると考えます。